９・２０なくそテ原発 2026 柏崎大集会に 県内外から９００人超！

やっぱり再稼働はダメ！原発はなくそテ～!!



県内外から会場いっぱいに集った参加者によるプラカード上げ。「なくそテ原発！」の声が響き渡りました。署名コーナー、屋外ステージでは福島、北海道、東京など各地からの活動参加も。



世界は省エネ・再エネに革新的に進んでいる

「原子力の『最大限活用』の無責任」と題して龍谷大学教授で原子力市民委員会座長でもある大島堅一さんが講演。「とてもよかった」「わかりやすい話だった」「原発にしがみつく理由がよくわかった」「原発は衰退産業だと知った」「原発はなくさないと…」等の声が多く聞かれました。

講演の中からいくつかご紹介します。●２０２２年に「福島原発事故に国の責任はない」との判決が出て以来、政府は原発の最大限活用に大きく舵を切った。●「原発は燃料費が安い、電気が足りない、原発は安定している、再エネは不安定だ」などというのは全て原発推進の口実で、誤っている。●原発は完成まで20年以上かかる。１基２千億円以上で高い。不確実で危険である。●原子力中核サプライヤーが廃業していて、原発産業は衰退の一途を辿るため、国が最大限活用の支援をして国民につけを負わせている。●ヨーロッパでは再エネへの切り替えが進み、英国は２０３０年に９割、ドイツでは現在64％が再エネ。ベランダ太陽光パネルや蓄電池が普及していてホームセンターでも買える。●次世代革新炉「核融合炉」は技術的成熟度が低く高コスト、放射性廃棄物の発生という問題は共通している。●次世代につけを回す原子力政策はやめにしよう。

「私たちの今後と展望」について県民ネットワーク事務局の中山均新潟市議が報告。６・７号機の状況、避難道路について説明。未来世代のためにも県民との熟議を重ね行動に取り組む必要があると力強く訴えました。



長野県、群馬県から実行委員会に参加

特別報告として木島平村議の山浦さんから柏崎刈羽原発から60キロ圏での地道な運動が紹介されました。

「柏崎刈羽原発の再稼働ストップ！廃炉を実現しよう」の集会宣言を採択した後、パレードを行い、柏崎市民のみなさんに呼びかけました。

原発ゼロ長岡市民ネット結成 15 周年

原発再稼働を考える市民のつどい

１１月２３日（月・祝）

１３：３０～１５：３０

会場：長岡市立中央図書館講堂

東電フクシマ原発事故から１５年

原発事故がもたらすもの

お話　**武藤　類子**さん



なくそテ集会のステージで歌う武藤さん（向かって右）

＊同封チラシをご覧下さい

10月のアオーレ前宣伝行動は 10月11日（日） 12時～12時30分 ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第１７３号　2026年９月２８日発行

連絡先　広井洋子　長岡市寿２－５－15
電話・FAX　０２５８－２４－２８７０

ホームページ